

広島カープ 小窪哲也さん来校!

11月30日(水)、かみのせき学苑キャリア教育講演会を開催しました。今年度は、広島東洋カープ一軍コーチの小窪哲也さんをお迎えし、「私の野球人生」と題して講演をいただきました。

講演の他、質問コーナーや代表児童・生徒とのキャッチボール、記念撮影など1時間があっという間に過ぎました。野球を通しての話ではありませんでしたが、子どもたちは様々なことを感じ勇気をもらったと思います。その勇気を様々な挑戦に向けて一步を踏み出してほしいと思います。◇以下に生徒の感想を掲載します。



「大人になっても野球を仕事にしているのが素敵だと思いました。私も好きなことが仕事にできるように頑張りたいです。【3年生】」

「辛い時や苦しい場面の時こそ、その人の本性が出ると話されていて、私は苦しい時でもあきらめずに頑張って先へ行ける人になりたいと思いました。【3年生】」

「今日の講演を聞いて、努力した人は報われるということを実際に目で確認することができました。私も小さな事でも良いから、毎日継続して何かを始めてみようとする気もてました。【2年生】」

「壁があったら乗り越えて、乗り越えた先に今は違う景色があるという小窪さんの言葉を思い出しながら、これからの学校生活に生かしていきたいと思いました。【1年生】」



1月の行事予定

日	曜	学校行事・一般行事	給食	バス	日	曜	学校行事・一般行事	給食	バス
1	日	元旦			16	月	生徒集会	○	17:00①
2	月				17	火		○	17:00①
3	火				18	水	3年学年末テスト、職員会議	○	15:05①
4	水	公務初め			19	木		○	17:00①
5	木	新生徒会リーダー研修会			20	金		○	17:00①
6	金				21	土			
7	土				22	日			
8	日				23	月	1・2年校内テスト	○	17:00①
9	月	成人の日			24	火		○	17:00①
10	火	始業式、年頭所感、生徒会任命式、専門委員会	○	17:00①	25	水	職員会議(3年行動評定会議)	○	15:05①
11	水	3年校内テスト、3年学年末テスト発表、2年祝島訪問、職員会議	○	15:05① 17:40①	26	木		○	17:00①
12	木	3年三者懇談会(希望者)	○	17:00①	27	金		○	17:00①
13	金	参観日(午後)、書初め展、立志の誓い	○	17:00①	28	土			
14	土				29	日			
15	日				30	月	専門委員会	○	17:00①
					31	火		○	17:00①

【2月の行事予定】(予定ですので変更することもあります)
 備考 1日:小中合同集会・職員会議 2日:仮入学 3日:生徒集会 7日:公立高校推薦入試 8日:職員会議
 10日:1・2年学年末テスト発表 11日:建国記念の日 15日:学校運営協議会
 17日:1・2年学年末テスト① 20日:1・2年学年末テスト② 22日:職員会議 23日:天皇誕生日
 27日:専門委員会

今年も大変お世話になりました。来年も上関小・中学校にとって躍動の年になりますよう、共にごがんばりましょう。どうぞよろしくお願いいたします。



〈学校教育目標〉
郷土愛と生きる力を
育む教育の推進

上関町立上関中学校
学校だより No. 8
令和4年12月23日

HPアドレス <http://www.town.kaminoseki.lg.jp/kami-juniorhighschool/index.html>

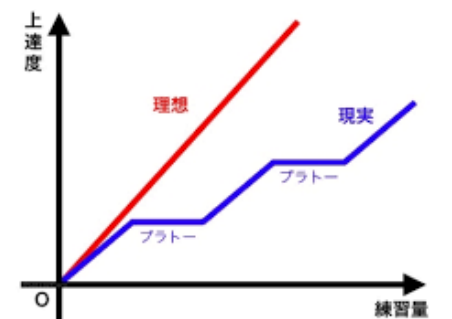
令和4年を振り返って~終業式校長式辞より~

*式辞の本旨を抜粋したものです。小学生(特に低学年)には難しかったかもしれませんが、ご家庭の方でわかりやすく話していただくと幸いです。

残暑厳しい9月から、秋が過ぎ、冬の到来へ。慌ただしく駆け抜けた2学期でした。時間の関係で一つ一つを語ることはできませんが、思い出多き2学期が本日で終了します。

年間統一テーマのもと、皆さんはそれぞれ様々な挑戦を行いました。この挑戦によって、「これまでできなかった事が、できるようになりましたか」「できていたことをさらに伸ばし、どのくらい自分を高めることができましたか」

今日は、皆さんに「挑戦する上で大切なこと」についてお話しします。学習面でもスポーツの面でも、私たちが何かの目標に対して挑戦するとき、学習やトレーニング量に伴って直線的に上達するわけではなく、途中で何度か停滞する時期があります。この時期を「プラトー」と呼び、この状態を「高原現象」と呼びます。



最初は基本的で比較的簡単なので急激に上達します。この時期はやれば成果がすぐ出るため、学習や練習も楽しく感じられるでしょう。しかし、その後はなだらかに、プラトーも長くなり、やってもできないと感じる期間が表れます。なぜなら、レベルアップのためには、習得しなければならないそれまで以上に難しい知識や技術が増えていくからです。

皆さんも何かに挑戦するとき、このような状態を経験したことはありませんか。そして、やってもできないからといって挑戦することを途中であきらめてはいませんか。

挑戦の内容や個人差によって、グラフの角度やプラトーの長さは一定ではありませんが、基本的には誰でも共通の過程を通ります。実は、この停滞する時期こそ重要なのです。逆に言えば、この時期を通らないと学習や技術の向上は見られないのです。

何故かという、プラトーの期間中、脳は学習した情報を整理して使える形に作り替える作業を行っています。この情報の熟成過程を通ることで、頭の中の情報は使える“知識”として整理されるのです。それにより、応用が利いたり様々な変化にも対応できたりするようになります。

挑戦を続けて、今結果が出なくても明日出るかも知れない。明日出なくてもいつかは必ずプラトーから抜け出せます。そしてプラトーの期間が長かった分、できた喜びや充実感が得られるのです。一番残念なのは、それを知らずにあきらめてしまうことです。この曲線の意味をしっかりと理解し、自分を高めるための努力を惜しまないでください。

この冬休み17日間は、夏休みに比べれば短い期間ですが、令和4年から5年に変わる大きな節目となる大切な時期です。

「自分は目標に向け、挑戦し続けてきたか」これまでの自分を振りかえって、新たな目標をつかっていく。そして目標が決まったら早速挑戦を始める。そしてあきらめない。大切な17日間を過ごしてほしいと思います。

今日から18日後の『令和5年1月10日』。健康で心も豊かに成長した皆さんに再び会えることを心待ちにしながら、私からの式辞といたします。

令和4年12月23日 かみのせき学苑 上関中学校 校長 吉中 孝志



花咲く町の学校っていいな！～小中合同花の苗植え～

11月9日(水)3校時、春に咲かせる花壇の苗植作業を小中合同で実施しました。児童・生徒の縦割り班に地域の方々も加わり、花の苗を植えていきました。おかげで“あっ”と言う間に小・中学校の花壇、プランターにパンジーやアリッサム、デイジー、ハナビシソウなどの多くの花々が並びました。

その後、花壇がイノシシに掘り返されるアクシデントなどありましたが、環境委員を中心に、生徒は寒い中でも白い息を吐きながら花を大切に育てています。寒さ厳しい冬ですが、心がホッコリと温まる光景です。来春には、上関小・中学校が花いっぱい学校になってることでしょう。今から春の到来が待ち遠しいですね。



海の町の学校っていいな！～地元食材を堪能！～



11月16日(水)の給食は、栽培漁業センターから提供された上関の特産である「活き車エビ」を使ったメニューでした。今年度は、車エビ本来の味を堪能してもらおうと「素揚げ」にしてもらいました。頭からかぶりつくことが苦手な生徒もいました

が、車エビの旨味をじっくりと味わっていました。

給食の放送では、センターの担当者から「活き車エビ」の説明とともに、育てる上での苦労話や、上関が誇れる特産物にしたいという熱い思いを語っていただきました。生徒は、食への感謝の思いをもつとともに、ふるさとに誇りをもって仕事をしている方の姿にもふれ、ふるさと上関の良さについて感じる事ができました。



一つの行事がカリキュラムへつながる

これまで、小中それぞれの学校行事の一つであった持久走大会が、今やかみのせき學苑の「学校・地域連携カリキュラム」として大きく位置付いています。

振りかえれば一昨年度、小中一貫校スタートの準備にあたり、別日に行われていた持久走大会を同一日に開催する案が出されました。協議の結果、同一開催は見送ることとなりましたが、その中でできる連携として、「それぞれの大会を“サポート”すること」を共通理解しました。そして、この開催方法が思いがけず、大きな成果へとつながっていったのです。

1 地域とのタイアップ

かみのせき學苑では、持久走大会シーズンを利用して、「中国電力」のご協力をいただき、陸上教室を開いています。今年度も11月29日(火)、陸上教室として、中国電力陸上競技部の現役ランナーやOBを含め5名が来校され、熱心にご指導をいただきました。



残念ながらあいにくの雨で、体育館での実施になりましたが、体幹トレーニングやラダートレーニングなど、陸上競技以外にも活かせる多くのトレーニングを教わりました。また、チームに分かれての対抗リレーなど、楽しい時間を過ごすことができました。

さらに質問コーナーでのトップアスリートの経験を基にした貴重な話から、生徒の持久走をはじめとする様々な挑戦に向けた勇気や自信をいただくことができました。



2 小学生をサポート！

12月7日(水)には、上関小学校の持久走大会にサポーターとして参加しました。低学年、中学年、高学年に分かれたレースの中に生徒も入り、ペースメーカーとして声をかけながらともに汗を流しました。

小学生にとって間近での応援は励みになったようで、「練習の時よりもタイムが上がった！」と喜びの声が上がりました。

また中学生も、そばで頑張る小学生の姿に心を揺さぶられ、「次は、私たちが…」と1週間後の自分への勇気をもらいました。

小学生と息づかいと足並みを合わせて目標に向かって挑戦する生徒の姿は、まさに小中一貫校「かみのせき學苑」のめざす姿でした。



3 小学生からの声援を受け、自分への「挑戦」！



12月15日(木)、本校の持久走大会が開催されました。起伏の激しい校地内外周回の女子2km、男子2.5kmのコースに挑みました。

生徒は、練習から設定した自己目標タイムをめざし、小学生の元気な応援の声を背に懸命に走りました。最後の上り坂はとてもきついコースでしたが、出場した生徒は全て無事登り切ることができました。走る事が得意な生徒も苦手な生徒も真剣に走る姿は、見ている大人たちが感動をもらいました。

また、陸上教室でお世話になった中国電力の方も気にかけてくださり、小学校、中学校の持久走大会に応援に来ていただきました。中学校の持久走大会では伴走までしていただき、パフォーマンスの面でも、精神的な面でも、生徒の支えになったことは間違いありません。

以上のように、各校の持久走大会が小中で縦に繋がり、「走る」だけではない「支える」要素がカリキュラムの中に組み込まれました。また学校の枠を越えて地域に支えられた行事へと広がりを見せています。

「かみのせき學苑」として小中で共に動くことが確かに増えてきましたが、小中一貫になったからといって全てを一緒にするわけではありません。それぞれの学校の良さを最大限引き出すために、「小中一緒にやる」ところと「小中別々にやる」ところを上手く組み合わせながら、よりよい小中一貫カリキュラムを編み上げていきたいと思ひます。



『自分を信じて 何事にも挑戦！ 私ならできる！！ 君ならできる！！！！』